

平成20年度病虫害発生予報第9号の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生動向についての予察情報及び病虫害防除に関する冬期間の栽培管理について解説します。

病虫害防除の主な留意点

- ・ 冬期間となり、水稻をはじめ多くの作物は収穫を終了したところですが、今後、施設を中心とした野菜類や花き類の栽培が多くなり、コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類の発生について注意が必要となってきます。これらの害虫は、ウイルス病の病原を媒介するものもあるので、適切な防除を実施してください。
- ・ 果樹や茶などの永年作物では、病害対策として、罹病枝葉の除去、病斑部の削り取り等が、虫害対策としては、粗皮削り及びマシン油散布等が、病虫害の越冬量及び越冬密度の低下につながります。来春の病虫害の発生を抑制するとともに、病虫害防除が効率的かつ効果的に実施できるよう、各作物ごとの基本防除を実施してください。
- ・ また、天候の状況に注意しつつ、都道府県の発生予察情報に留意し、地域ごとの防除要否を見極めて、適切な病虫害防除を行ってください。
- ・ なお、薬剤散布を実施する場合には、病虫害が薬剤への抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。

用語の解説

1. 【発生量（程度）】

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

2. 【地域】

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県

- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

野菜及び花き類

(施設栽培)

- ・ 冬春作のトマト、きゅうり、いちご等の野菜類及びきく等の花き類は、施設での栽培となっています。夜間加温が行われるところでは、病害虫の発生もしやすい環境となるので、施設内の病害虫発生について注意深く観察してください。特に、定植後間もない時期で病害虫の被害を受けると、その後の生育や収量へ大きく影響するので、発生初期での防除を徹底して下さい。
- ・ 病害については、過湿な状態は発生がしやすい条件になるので、過度なかん水の回避、循環扇の設置、換気等により過湿環境を回避して下さい。また、伝染源となる罹病葉及び罹病果は施設外に除去し、土中に埋める等、確実に処分して下さい。
- ・ 害虫については、施設内及び周辺の雑草は害虫の生息地となるほか、ウイルス病の伝染源となることもあるので除草して下さい。また、施設の開口部に防虫ネット等を設置し、アザミウマ類、コナジラミ類等のウイルス媒介虫の侵入防止対策を行ってください。
- ・ 施設栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
トマト		
葉かび病	――	東海
コナジラミ類	関東	東海、四国、南九州
なす		
アザミウマ類	――	四国、南九州
コナジラミ類	北九州	――
ハモグリバエ類	――	北九州
ピーマン・シシトウ		

うどんこ病	---	南九州
アザミウマ類	四国	北関東
コナジラミ類	四国	北関東
アブラムシ類	---	四国
ホコリダニ類	四国	---
ヨトウガ	---	南九州
きゅうり		
うどんこ病	---	東海
褐斑病	北九州	北関東
アザミウマ類	北関東	東海
コナジラミ類	---	九州
いちご		
うどんこ病	九州	関東、東海、近畿、中国
炭そ病	---	南関東、中国
アザミウマ類	---	南関東
コナジラミ類	---	南関東
アブラムシ類	---	南関東、中国、四国
ハダニ類	北関東	南関東、東海、南九州
きく		
アザミウマ類	---	南関東
ハダニ類	北九州	南九州

(露地栽培)

- ・ 向こう1ヶ月の天候は、全国的に気温、降水量、日照時間ともに平年並と予想され、現時点では病害虫の発生を大きく左右するような気象状況の予想はされていません。引き続き、病害虫の発生動向に注意し、適切な防除を実施してください。
- ・ 露地栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
だいこん		
コナガ	---	南関東、南九州
はくさい		

白斑病	北関東	東海、中国
ヨトウガ	---	中国
コナガ	---	中国
キャベツ		
菌核病	---	東海
ヨトウガ	---	南関東、近畿
ねぎ		
アザミウマ類	東海	近畿、北九州
ヨトウムシ類	南関東	---
レタス		
斑点細菌病	北関東	---
アブラムシ類	---	北九州

【果樹】

- ・ 常緑果樹（かんきつ）では、カンキツかいよう病やカンキツそうか病等の病害は、越冬病斑が翌年の発生源となるので、本年発生が多く見られた園地では、越冬源となる罹病枝及び罹病葉の除去を行う等、適切な管理を実施して下さい。
- ・ 落葉果樹では、りんごの腐らん病については、罹病枝の剪除や幹の病斑部の削り取りを行い、土中に埋める等確実に処分し、剪定後の切り口や病斑部の削り取りを行った部位には薬剤塗布を実施して下さい。また、なしの黒星病、もものせん孔細菌病等の病害については、園地に残ったままの剪定枝及び落葉等の残渣や罹病組織の除去を行ってください。加えて、春先の感染を防止するため、発芽前の薬剤散布を励行してください。
- ・ また、本年ハダニ類及びカイガラムシ類の発生が多かった園地では、越冬量を低下させるため、粗皮削りを行い、春先にはマシン油の散布を行ってください。

【茶】

- ・ 茶については既に本年の最終摘採が終了しているところが大半ですが、果樹同様に今後、次年における病害虫の発生を抑制するための栽培管理が重要です。また、多くの茶害虫は、冬期の気象条件によって翌春の発生量が大きく変動しますので、来年の栽培に向け、引き続き気象や病害虫の発生動向に注意し、適切な管理を行ってください。
- ・ カンザワハダニについては、越冬期の密度を低下させるため、休眠に入る前までに防除を行ってください。また、クワシロカイガラムシやハマキガ類等の害虫については、既に本年最後の防除適期が経過しています。今後、病害虫防除所等が発表する情報を参考に、来年の防除に備えてください。

【その他】

前回（平成20年10月2日）以降、各都道府県が発表している発生予察情報は下記のとおりです。

・ 注意報（前回未発表）

発表月日	県名	作物名	病害虫名
10月2日	高知	施設果菜類（なす、ピーマン・シシトウ、トマト）	チャノキイロアザミウマ
10月2日	埼玉	茶	チャハマキ

・ 注意報

発表月日	県名	作物名	病害虫名
10月3日	大分	大豆	ミナミアオカメムシ
10月3日	静岡	ねぎ、たまねぎ、らっきょう	ネギアザミウマ
10月31日	大分	いちご	うどんこ病
10月31日	鹿児島	いちご	うどんこ病

・ 特殊報（前回未発表）

発表月日	県名	作物名	病害虫名
10月1日	岩手	野菜類、花き類	アシグロハモグリバエ
10月1日	和歌山	もも	モモ果実赤点病（仮称）

・ 特殊報

発表月日	県名	作物名	病害虫名
10月6日	長野	宿根アスター、ひまわり、アゲラタム（カッコウアザミウマ）	アワダチソウグンバイ
10月6日	長野	アルストロメリア	アルストロメリア黒斑病（仮称）
10月7日	群馬	プラタナス、イタリアンポプラ	プラタナスグンバイ
10月10日	愛知	水稲、大豆等	ミナミアオカメムシ
10月10日	鳥取	メロン	メロン微斑病（仮称）(MMMoV)
10月10日	長崎	ひまわり	アワダチソウグンバイ
10月14日	高知	ピーマン、シシトウ	チャノキイロアザミウマ

10月14日	栃木	二条大麦	オオムギ縮萎縮病ウイルス (BaYMV) IV型系統
10月21日	長野	プラタナス	プラタナスグンバイ
10月22日	北海道	広範な作物 (大豆、にんじん、かぼちゃ、牧草類等)	ヘリキスジノメイガ
10月30日	埼玉	きゅうり	キュウリ退緑黄化病 (仮称) (CCYV)
10月31日	島根	きく	キク茎えそ病
11月5日	香川	水稲、大豆等	ミナミアオカメムシ
11月12日	千葉	しそ	サビヒョウタンゾウムシ

<平成20年度の病虫害発生予察予報の発表予定日>

- 第1号：4月24日（木曜日）・・・発表済み
- 第2号：5月15日（木曜日）・・・発表済み
- 第3号：6月12日（木曜日）・・・発表済み
- 第4号：7月10日（木曜日）・・・発表済み
- 第5号：7月24日（木曜日）・・・発表済み
- 第6号：8月7日（木曜日）・・・発表済み
- 第7号：9月4日（木曜日）・・・発表済み
- 第8号：10月2日（木曜日）・・・発表済み
- 第9号：11月13日（木曜日）・・・今回発表
- 第10号：2月19日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課
 担当者：防除班大岡，城島
 代表：03-3502-8111（内線4562）
 ダイヤルイン：03-3502-3382
 FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL
<http://www.maff.go.jp/j/press/>